

# THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU

# NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2022~2023年度 No.280

## 4 月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ IV



強調月間：W4W  
RBM

#### 今月の聖句 (国際聖句) ヨハネ17:21

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内いるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。(後略)

#### 4月第1例会(ユースリーダー、YMCAスタッフ、リーダーOBを迎えて)

日時：4月27日(木) 午後6時~8時

場所：日本基督教団西那須野教会ホール・礼拝堂

内容：とちぎYMCA松本主事を迎えてのお話

午後6時よりホールにて各自、食事を取り開会を待つ。

司会：田村 修也副会長

開会点鐘・開会挨拶 会長 河野 順子

聖書朗読・祈禱 司会者

ワイズソング斉唱 一同

ワイズ信条 斉唱 一同

会長挨拶・ゲスト紹介 会長 河野 順子

担当主事 平山 雄大

とちぎYMCA主事 松本 法判

お話 「YMCAに好きなこと」

とちぎYMCA主事 松本 法判

質疑応答

報告事項 YMCA 担当主事 平山 雄大

ワイズ 会長 河野 順子

YMCAの歌 一同

閉会挨拶・点鐘 会長 河野 順子

メンバー・メネット 会費：1,000円

参加者は準備の都合がありますので、4月20日(木)までに村田まで。メールまたは電話(090-9095-4035)連絡をください

#### 2022~2023年度 主題

国際会長：(IP) ウルリック・ラウロセン(デンマーク)

「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長：(AP) チェン・チ・ミン(台湾)

「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

東日本区理事：(RD) 佐藤 重良(甲府21)

「未来に向けて今すぐ行動しよう」

北東部長：大久保 知宏(宇都宮)

「クラブのミッションを育てよう」

#### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：平山 雄大

ブリテン：田村 修也・村田 榮

#### 3月例会データ(出席率：85.7%)

在籍者 7名

出席者 6名

メネット 2名 ゲスト 9名 ユースリーダー 2名

#### 4月 Happy Birthday

4/19 平山 雄大メン

#### ・アジア学院入学式

日時：4月15日(土) 午後1時から

場所：那須塩原市槻沢442-1

#### ・那須聖園老人ホーム新築完成式

日時：4月20日(木)

場所：那須町寺子丙1498-2

#### ・5月第2(役員会)例会

日時：4月27日(木) 午後4時30分から

場所：日本基督教団西那須野教会

## 巻 頭 言

村田 榮

### みみずのたわごと～お爺さんの銀時計～

地区の共同墓地に山口家の墓（メネットの実家）がある。墓標の裏に「当家ハ1945年11月政俊ノ長男眞俊三男伸俊東京都八王子市ヨリ来タリ荒野ヲ拓キ定住セシモノナリ(後略)」と記されている。眞俊（義父）の記した自分史(みみずのたわごと)に那須に開拓に入って様子が書いてある。サブタイトルの銀時計は職業軍人で東京農工大農学部を卒業時に天皇陛下より拝受した自慢の時計である。

終戦を迎えて、八王子に帰った義父は、焼け跡のある小さな我が家での生活が難しいと考え、定住地を白河と那須に求め、少しでも東京に近い那須と決めた。開拓地は、陸軍の軍馬補充地であった。天井もない掘っ立て小屋を建て、伸俊叔父と二人で、寒い時には、二人して抱き合って毛布にくるまって寝たという。その小屋も、1946年の春の風で吹き飛ばされた。その生活は、ランプ、食べるものもなく蛇でもカエルでも食べ、鍬一本での開拓。言い表せないすさまじいものであったという。開拓は、9戸の復員軍人で、1948年に占領軍の命令で軍人が固まらないために、地域の開拓民16戸と一緒に、隣保に分けられ開拓農業組合ができた。1949年公職追放令が解除。眞俊は1950年栃木県立那須農業高等学校教諭に採用。当時の初任給は、4800円。生活は大変楽になったことだろうと推察される。

1952年に建立された田島開拓の碑(開拓農業組合)がある。そこには、眞俊の名はない。政俊(メネットの祖父)と伸俊の名前はある。農業振興政策(専業農家)のため、政俊の名義で全てが処理をされたようだ。今でいう、やっかみのチクリがあったそうだった。

義父は、「必ず、自給自足の時代が来る、子供たちが自給自足できるように土地を残す」と言っていた。

那須町には、開拓地がたくさんある。その中でもNHKテレビの「開拓者たち」で取り上げられた千振は田島から車で10分程度離れたところにある。

今、那須の地は春を迎え、コブシ、桜、枝垂れさくら、花モモが一斉に咲き誇る。天国の義父は誇らしげに眺めていることだろう。

義父と義母の二人が開拓したこの土地をどのように守っていくのか大きな課題である。電化・技術化が当たり前今の生活。義父の言葉は重い。この地を守り育て次の世代につなぎたい。



2023. 3.18 講演会 於：日本基督教団西那須野教会

## 3月第1例会(講演会)報告

日時：3月18日(土)午後3時～

場所：日本基督教団西那須野教会

出席者：河野、田村、村田、藤生、張、平山の各メンバー、田村、村田メネット、ゲスト：原田、潘牧師、リーダー2名、西那須野教会8名 計20名



3月例会は、「ACP (アドバンス・ケア・プランニング/人生会議) ～もしもの時に備え話し合おう

～」をテーマに、栃木県訪問看護ステーション協議会会長でもある河野順子那須ワイズ会長を講師に、多くのゲストを迎えて、講演会を行いました。今回は「講師から聞く、『座学』というより、「参加者同士で語り合う、『実践』的な内容を中心に行いました。

ACPは『自分の最後を「尊厳ある生き方を実現するために、どうして欲しいか』を、家族に・医療機関等に・親族に・仲間に、



自分の思いを伝えて理解してもらうことがとても重要です。そして年齢を重ねるに従って家族構成・自分の健康・生活環境などが変化しますので、『どうして欲しい』も変化して



いきます。そのため繰り返し、何回も話し合い、『どうして欲しい』を「更新、していくことがとて

も大切とのことでした。とは言え自分の考え・思いを言葉にすることは意外と難しく、今回の講演では、参加者を6～7名の3つのグループに分かれ、講師から出された「暮らして大切にしたいことは何ですか」「これからどのように生きていきたいですか」「あなたが信頼できる人はだれですか」などの幾つかの課題についてグループ内で発表し合いました。発表をするために自分の考え・思いを整理し、他者の発表を聞くことで自分の考え・思いを深める良い機会となりました。

講演時間はあった言う間に過ぎ、講演予定内容の半分も進まなかったよう



ですが、「残りは次回のお楽しみ、ということで、講演会は終了しました。

## 4月(第2例会(役員会)報告

日時：3月24日(金)午後4時30分から

場所：田村副会長宅

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、平山担当主事、松本主事(宇都宮ワイズ)

### 1. 新年度の那須YMCAの体制について

とちぎ全体を考えての移動がある。平山主事は、担当主事は継続するが、現在の業務からは変わる。オールとちぎとして、人材育成が急務であることを話し合った。

### 2. 4月例会について

松本主事の時代のOBと現役のユースリーダーを交えての例会を開催する。松本主事にスピーチを依頼する。題は、「YMCAの好きなこと」。日時は、4月27日(木)午後6時より、夕食は、コンビニ弁当を注文する(村田が準備)。多くのOB、リーダーの参加を期待する。

### 3. 御園那須老人ホームへの訪問について

5月5日(金)午後2時に訪問する。寄贈するタオル等を持参する。新施設の見学。特別例会とする。

### 4. 5月役員会(第2例会)について

5月27日(木)午後4時30分から、西那須野教会で行う。5月例会、次年度計画について相談を行う。

### 5. 5月例会について

植樹例会とし、塩那森林管理署との日時等の打ち合わせは、河野会長が行う。

### 6. その他

- ・トルコ地震の支援献金を5,000円する。
- ・シイタケ昆布を4月初旬に注文する。

## 旧西那須野(那須西原)の緑と水(第119回)

田村修也

大正14年(1925)の松方農場(現在の蓬萊殖産・千本松農場)の事業のあらましですが、開拓事業の中で山林事業だけが黒字で、その黒字分がその他の事業の赤字を補っていることがわかります。この後、昭和7年(1932)発行の西那須野村郷土史(※この昭和7年には、栃木県内では殆どの市町村で郷土史が編纂発行されています。)の千本松牧場の山林事業の報告では、「山林事業は現今では当農場の主体であって、木材の産出と製炭とが第1で、

就中、木炭は品質の優良点で東京方面で賞用されている。林樹は当農場適正の天然性赤松を第1位として、更に人工植栽では左記の種類である。『柵360万本、檜20万本、杉8万5千本・・・』と、実に膨大な植林事業がなされ、その森林による薪炭生産販売が、農場とは別に山林事務所を設けて進められていたことが分かります。

この植林事業、森林造成こそが、那須風の強風を防ぎ、土壌の飛散を防ぎ、気象を緩和し、水源を涵養し、堆肥を産み出し、薪炭生産による現金収入を豊かにし、もって、開拓事業を支えてきたことが分かります（ペシャワールでの犬養道子さんや中村哲さんの働きに思いを馳せます）。この那須野が原にあっては、木という木は、殆ど1本1本手でもって植えられたものであり、水という水は那須疏水によって、那珂川から引かれたもの以外は無いと言ってもいいでしょう。

こうして、水をはぐくみ、酸素を供給し、命を産み出す土地をつくり、暑さ寒さ等の気象を緩和し、激しい那須風の強風やさまざまな災害から守り、あらゆる生きものに生きる場を与えながら、私たちの生活を支えるエネルギー源である薪や炭の原料供給や、木材等再生産可能な資源を産み出してくれるとともに、私たちに潤いと安らぎを与え、豊かな心をはぐくんでくれる森林をつくって、荒れすさんだ大地を穏かな環境につくり変えながら、安心して、豊かな夢と希望を実現していける「新しいふるさと」を築き上げてきたのです。

旧那須西原は、江戸時代までの封建体制と鎖国政策が終わって、新しい日本として世界の仲間入り始めた明治の初めまで、人を寄せ付けない荒れ野原でした。しかし、那須疏水の開鑿と那須野が原開拓という壮大なプロジェクトに取り組むことによって、特別に準備された特別の場所、古い時代の因習に縛られない、全ての人々が共に生きることが出来る新しい日本の姿を先取りして、それを実現してきた所です。

今、アジア学院の設立とその働きによって、世界の人々があらゆる違いを超えて、共に生きる新しい世界を先取りするチャレンジをし続けている特別な所となっています。こういう町はそうあるものではありません。日本中、いや世界中を探しても、殆ど無いでしょう。このことは、誇りをもって、すべての人に語り得るものであります。

21世紀は、自然との共生の時代、資源循環型社会の時代だと言われています。私たちの住む旧西那須野町は、こうして水を引き、水田を作り、木を植

えて、人間の定住できる環境をつくりながら発展してきました。市町合併するまでは、人口4万4千人の栃木県内の町では人口の最も多い、最大の町になっていました。昭和58年（1963）の人口は約2万8千人でしたから、20年足らずのうちに人口がほぼ2倍になっています。新幹線や高速道路の開設によって、日本全国から新しい人々が押し寄せてきたという感じです。でも、「同じ釜の飯を食った仲間」という素晴らしい言葉がありますが、新たにこの地に住むようになった方々も、水道の水を飲んだその時から、同じ那須疏水の水を飲む仲間になっていきます。私たちの体内を流れる血は、同じ那須疏水の水です。その意味では、どんな遠くからお出でになった皆さんでも、私たちを同じ疏水の水で生かされている兄弟姉妹になると言えるでしょう。

（以下次号へ続く）

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園  
西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

『『どうして死んだの』、『がんで死んだよ』、『とても痛くてかわいそだったね。ぼくのおばあちゃんもがんで死んだから』』と、園児は、ウサギの亡骸を胸に抱きしめた。

園で飼育していた羊のロンちゃんが、月曜日の未明、天に召されました。大食漢でこの園では9年間にわたり、子ども達と一緒に過ごし、毛刈りでは、間違えて皮膚を切られたりしながらも、子ども達に意味ある体験をさせてくれました。

先週の水曜日に担当のOさんから食欲がなくなり、元気がないと報告があり、その日の夕方に獣医さんが注射をし、整腸剤を処方されましたが、症状の改善が見られず、金曜日、土曜日、日曜日と往診していただきました。土曜日にはお腹が膨れガスが溜まってつらそうでした。日頃は、餌を競って食べていた年上相棒のリボンちゃんも、元気がないロンちゃんのそばに寄り添っていました。日曜日になるとロンちゃんは、寝たままで、もう注射から逃げ回る元気も残されていませんでした。先生から「羊は腸が長いので、回復は難しい」と仰いました。

現在、子ども達が死に接する機会はあまりありませんが、動物による「死の教育」は、動物の「誕生」と同じくらいとても大切なことです。

冒頭の会話は、以前、園で飼っていたウサギが、皮膚がんで亡くなった時のエピソードです。その時

の私は、胸の皮膚がただれて血だらけのウサギを胸に抱きしめることはできませんでした。その時の私とウサギは、「私(I)」と「それ(IT)」の関係であったからです。子どもと一緒に生活している園の動物は、聖書に出てくる羊飼いと羊のように、「私(I)」と「あなた(YOU)」という人格関係です。これは、図鑑や絵本では得られない関係性で、ここに園で動物を飼育する意味があります。

献花台には、子ども達から亡くなったコロちゃんに、「コロちゃんだいすきだよ ありがとう」、「コロちゃん げんきにしていますか おそらでみてね」等との感謝の手紙がありました。好きだったキャベツ、園庭にある藤の実、そして、沢山の細い小枝が捧げられていました。この細い小枝の意味はわかりませんが、食欲旺盛なコロちゃんは食べたのだらうと思います。「悲しくて沢山泣いた」と言う子どももいました。

「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ(ヨハネによる福音書 12・24)」という聖句があります。神様がコロちゃんを通してまいた種が、子ども達の心のなかで立派な実を結んでいることが死を通してわかりました。子ども達はコロちゃんと触れ合うことで、命を慈しむこと、命の大切さを学びました。

動物も人間と同じように慈しみ大切にできる、動物と人格的に関わる子ども達は素晴らしく、私たちの希望です。

## 聖園那須老人ホームたより

社会福祉法人 イースタービレッジ  
那須聖園老人ホーム

施設長 薄井 高宏

桜の花が例年になく開花した暖かな今日この頃、皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか。

皆様のご支援のおかげでこの度、聖園那須老人ホームの新築工事が無事に終わりを迎える事ができました。新築施設では、Wi-Fi 通信網をつかったセンサー機器や防犯カメラ、防犯センサーや民間警備会社との契約、電子錠の整備、全室電動ベッドの完備、機械浴を2台設置、感染症対策を講じた建築、エレベーターの設置、全室個室(洗面、クローゼット完備)、最新の消防機器や厨房機器の導入等、盛沢山の内容が盛り込まれております。皆様へのお披露目も4月21日～4月27日でご案内出来る事となりましたので、見学をご希望される方は、下記連絡先にお申し込みをお願い致します。

新しい施設共々、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 新しい施設に建替わるにあたり

聖園那須老人ホームでは、新しく個人契約入所を開始したいと思います。この制度は、地域にお困りの方々に住宅を供給する観点からのサービスで、措置入所で必要な条件や入所判定委員会の意見、市町の決定がなくても施設と入所を希望する方との契約で入所できるサービスです。契約にもいくつか条件や料金の違い、サービスにも違いがありますので、ご興味のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。

また、新築にあたり、ご寄付も募っておりますので併せてご連絡ください。

## タオル寄付のお願い

聖園那須老人ホームでは、入所者の方々が生活する中で、様々な場面で使い切りの布(タオル)を使用しています。つきましては、皆様には、タオルの寄付をこれまで同様お願いできれば幸いです。

- ・新品、未使用、使用後は問いません。
- ・ハンドタオル、フェイスタオル、バスタオル、タオルケット等大きさも問いません。
- ・御年賀やご挨拶で頂いた物、未開封、開封後等問いません。
- ・切断や洗濯、消毒はこちらで行います。

## YMCAだより

### 【ユースボランティアリーダーを送る会】

2022年度、宇都宮・那須・トライ東で活動・活躍をしたとちぎYMCAユースリーダー6名・高校生ボランティアグループ「つぼみ」で活動をした16名へ感謝の気持ちを伝えました。那須YMCAからは9名のリーダーが卒業しました。

当日はスライドショーやゲーム、プレゼント贈呈など素敵な時間となりました。

卒業するリーダーから後輩リーダーへバトンが渡ったようでした。



YMCAの思い出を胸に次のステージでも頑張ってください!

おめでとうございます。

【卒業するユースボランティアリーダーからの言葉】  
高橋 亜由音（あゆ〜んリーダー）



YMCAのリーダーとして活動した4年間は、私の大学生活の全てと言っても過言ではないほどのものでした。日々のリーダー

会や活動日、フォーラムや研修。その全てで経験した事、話し合ったこと、出会った人、悩んだことは全て自分の人生の中でかけがえのない宝物となりました。楽しい事だけでなく悩むこともありました。人間として成長できそして個性を育てられました。全てが良い思い出です。本当にありがとうございました。

室橋 岳人（むろリーダー）



YMCAにいた4年間で、多くの活動に参加させて頂きました。その中でも私にとって

印象に残っている活動が、那須Y1年の夏キャンプです。その時のキャンプでは、私が持ったグループの子はとても元気が良く、1人でまとめるのが大変でした。しかし、その時一緒に参加していた先輩リーダーに助けて頂き、無事に活動を終えることが出来ました。その活動を通して、YMCAはとても優しく、温かいところだなと思いました。また、先輩リーダーとの活動で沢山の学びを得られました。

あっという間の4年間でしたが、その中で多くのリーダーと関わり、沢山の経験が出来ました。4年間ありがとうございました。

【とちぎYMCA・那須YMCA4月の予定】

- ・4/1（土）とちぎYMCA職員就業礼拝@宇都宮市青少年活動センター（トライ東）
- ・那須YMCA 英語クラス：4/12（水）より新年度開始予定
- ・西那須野幼稚園運動あそび：4/14（金）より新年度開始予定
- ・西那須野幼稚園英語あそび：4/14（金）より新年度開始予定

- ・西那須野幼稚園サタデークラブ：4/15（土）新年度開始
- ・4/15（土）サタデークラブ@長峰公園 ハイキング
- ・4/22（土）サタデークラブ@長峰公園 ハイキング
- ・4/22（土）宇都宮YMCAリーダー新歓

ユースリーダーのつぶやき

1. 名前（リーダー名）
2. 学校名
3. 出身地
4. YMCAに入ったきっかけは？
5. 思い出に残った活動とその理由は？
6. 今後の進路は？
7. YMCAに一言

今月は休みます

編集後記

・3月末より暖かい日が続き、こぶしの花から始まって、ソメイヨシノ、枝垂れさくら、花桃。山さくら、ボタンさくらまで一斉に咲きました。今は、桜の花が散り始め、ちょっと早い感じがします。これも気候変動によるのかな？